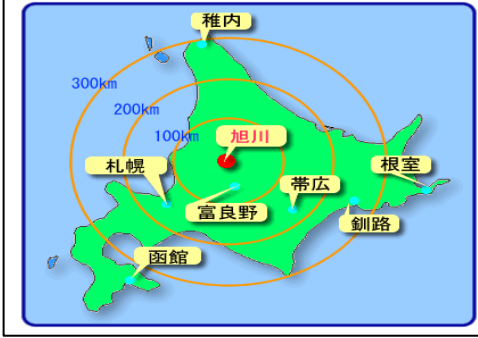


平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	西神楽地域における「冬期集住・二地域居住 環境推進モデル事業」
対象地域	北海道旭川市西神楽地域
対象地域の概要	ー交通アクセスー 羽田空港～約1時間45分 関西空港～約2時間25分 旭川空港～車で10分 旭山動物園～車で30分 美瑛町～車で20分 富良野市～車で1時間 【位置図】   【西神楽聖和地区風景】  【田園風景】 
提案内容の概要	人口高齢化に伴う諸課題や都市住民の意向に対応すべく、都市と農村の連携を見据えた冬期集住や夏期滞在のための実態調査、地域住民の意向調査及び当地域の土地利用状況を考慮し、新たな居住形態を踏まえた農村整備のあり方、農村住民の冬期集住と都市住民の夏期滞在を組み合わせた新たな地域共同体のあり方を提案する。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	昨年度実施した当該事業を通じ、この事業を継続させるためには、都市住民との新たな交流手法が求められると判明した。都市住民の夏期滞在を実現させ、移住・定住に向けた地域支援体制の構築により、新規就農に向けた取り組みや兼業サラリーマンの取り組みを通じて耕作放棄地の対策や農業後継者の問題解決に結び付けることができると考える。 更に、当地域の空き家を通年で夏期滞在と冬期集住に活用できることが検証できれば、地域の一人暮らしの高齢者に安全・安心な生活場所を数多く提供でき、地域の活力を取り戻すことが可能と考える。
(2) 活動内容の案	活動①：二地域居住に関する調査・検討 内容：夏期滞在プログラムの策定と夏期滞在の試行 昨年度実施した都市住民の夏期滞在アンケートや二地域居住希望者ヒアリング等を踏まえ、検討委員会や地域各活動団体、地域住民と一緒に夏期滞在プログラムを提案し、西神楽地域の受入体制を構築する。 また、様々な形で夏期滞在者を募集し、夏期滞在の試行を通じて、様々な課題やニーズの検証を行う。更に、この試行を実施する中で、二地域居住者に向けた安全な食の提供や小規模農業モデル、地域コミュニティ形成を考慮した地域拠点づくりを目指す。 活動②：冬期集住に関する調査・検討

	内容：冬期集住プログラムの策定と冬期集住の試行実施 昨年度実施した冬期集住意向アンケートや冬期集住体験者のヒアリング等を踏まえ、空き家を活用した冬期集住施設の環境改善を行い、医療機関や検討委員会、地域各活動団体、地域住民と一緒に冬期集住プログラムを提案し、地域との連携体制を構築する。 また、継続的な運営を目指して、実施主体や体制も検討し、様々な検証を行う。
	活動③：その他調査・検討
	内容：冬期集住・二地域居住ビジネスモデルの検討 継続的な実施・運営に向けて二地域居住及び冬期集住のビジネスモデルを検討する。 ：周辺地域における二地域居住・冬期集住事前調査 瑞穂地域や千代ヶ岡地域の高齢化率や一人暮らし世帯数の把握、意向調査及び施設として活用できる空き家の調査を行う。 上記の活動を踏まえた中で、住みやすいまちづくりを考えた検討会や地域の合意形成を目的としたタウンミーティングを開催しながら、各種課題を解決すべき方法を見出す。
応募団体名	特定非営利活動法人グラウンドワーク西神楽
リンク	
部局／担当者名	理事 谷川良一
連絡先	0166-75-5305
推薦市町村名	旭川市